

いちひろ

TENRIKYO
ICHIHIRO BRANCH CHURCH

〒 635-0812 奈良県北葛城郡広陵町広瀬 306

立教 179 年
平成 28 年 10 月 17 日
第 295 号

天理教一広分教会
☎ 0745 (57) 0076

おことば抄

西とか分からん、
東とか分からん
大難という中でも
舵の取りようで行く。

(明治30年8月14日)

解説 生きていく中で、いつも順風満帆というわけには
いかない。時に波風にあおられたりする。西も東もわか
らず、逆風・大難の中にいる。どう対処すればいいの
か。その場合、逆風をむりやりにも突破していく、とい
う考え方もあれば、静かに身を低くして、時を待つ、と
いうこともある。さらに、まったく思いとは違う別の
方向に進んでいく、というあり方も、選択肢の一つとなる。
歌の文句ではないが、さあ、あなたならどうする。

そのとき、考えなければならぬことは、「これまでの
道すがら、善い道ばかりやない。艱難苦勞いつ／＼通り、
よう／＼日及んだる。よう聞き分け。」と仰せになる。す
なわち、おやさまの道すがらは、まさに艱難苦勞の道
中であつた。そして、ようやく今日の結構な日になつて
きたのである。いうならば、おやさまの道すがらに思いを
寄せることが、逆風・苦難に処する基準となるだろう。
そこから考えることである。

もう一つ、『逸話篇』八八「危ないところを」によれば、
土佐は明治14年晩秋、北海道奥尻島で嵐にあり、危うく
海難しそうになる。その頃おやさまは、お居間の北向き
の障子を開けられ、おつとめの扇を開いてお立ちになり、
北の方に向かって、しばらく、『オーイ、オーイ』と誰か
をお招きになつていた。そのとき、土佐は手招きされる
ように感じた方向に舵を切つた。そしてたすかつた。後
日お礼におちばに参拝した土佐に、おやさまは「危ない
ところを、連れて帰つたで」と。

一切の人間の思案を排して、教えのままに歩むところ、
いかなる逆境であろうとも新しい進路が見えてくる。

野良日記

をやの懐住まいを感じて

守井幹直

ひよんなことから村のはずれにある飛び地が、教会の管理する土地となったのは今年の初めごろのことである。春から夏にかけて手つかずで、そのまま放置されていたので、雑草は生え放題になっていた。

夏も終わりに近づいたころ、やはり気になるので、せめて周りの畑に迷惑がかららないようにと、草刈りだけはしておこうと思いついた。しかし、そう思いついてはみたものの考えてみれば、教会にある草刈りの道具と言えは鎌のみ。その区画一面に覆うように生えている草を刈るには少し心もとない。そこで家内に相談したところ、草刈り機を購入してもよいということになった。

なにごとにも始めるには、まず道具からである。元初まりにおいて、親神さまが創造に先立って、さまざまな道具を寄せられたことを、自分の心の中で思いながら、妙に納得した。

第一日目（八月二十八日）

さて、草刈り機を近くのホームセンターで購入し、さっそく草刈りを敢行した。まだまだ残暑の厳しいころだったので、軽トラの荷台に草刈り機を積み、畑へと行った。

畑に到着し一通り草を刈り終わって一息入れていると、隣の畑で農作業をしていたおばちゃんが、こちらに寄ってきて、車の停め方を伝授してくれた。他の車の妨げにならないように、この辺りに停めればよいということになった。

ところで、小生はこの小さな村で育ったのだが、高校から長い間、教会から離れて暮らしていたので、実際には顔と名前が一致しないことも多くあった。顔を見たことがないという人も実は少なからずいた。しかも、小生は小さいころにはずいぶんと方々で悪戯をしたこともあって、村の人に尋ねたら、ああ、あの天理さんとのこと、という返事が返ってくるくらいに知れ渡っていた。

なので、畑を始めるにあたって、知らない人と（そして、おそらく向こうは当方を知っているはず）どうやって接したらいいのかわからない思っていた。実は軽トラの停め方を教えてくれたおばちゃんも、どこのおばちゃんな

のかピンとこなかった。

そう思っているところに、向こうから話しかけてきてくれたのだから、御の字である。心が一気に軽くなった。

続いて、そのおばちゃんは、教会の飛び地の真ん中に立っているさくらんぼの樹についていろいろと教えてくれた。

その樹は近所ではちょっと有名になるくらいおいしい実がなる樹らしい。そういえば、春先にさくらんぼを食べたような記憶がある。ただし、今は、蔓が巻き付いていてそれを取り除く必要があるとのことだった。そう言いながら、こちらの蔓を引く張って取り除き、あちらの蔓を引く張りしてくれた。

このおばちゃん、実は優しい人だなと感じ入った。小生にとってはあくまで初対面（のハズ）なんだけど、おばちゃんの仕草や所作から優しさがにじみ出ていた。

そうすると、おばちゃんとさっきまで一緒に農作業をしていたおっちゃんまで、さくらんぼの樹の真ん中のシューっと立っている部分を指して、あれはさくらんぼと違うで、あれも切らないといけないと教えてくれた。

しばらくは、枝先にまとわりついている蔓を、おばちゃんがして見せてくれたように無

造作に引っ張って取り除いていたが、その蔓を伝っていくと、なんと樹の枝より太くなっている部分が現れた。蔓というよりは何か別の木のような感じがした。その木の枝のような蔓をさらにたどっていくと、さくらんぼの樹の根元から生えていることが分かった。

鎌で切ろうとがんばってはみるものの、木の枝のような蔓はなかなか切れない。苦戦しているとさっきのおっちゃん、のこぎりで切らないといけないと教えてくれた。至極当たり前のことのように思えるかもしれないが、畑のことに関する知識も経験も、ほぼ皆無に等しい私にとっては、雲をつかむような気持ちで作業にあたっていたので、おっちゃんが神様のように思えた。一つ一つの些細なことが小生には新鮮で、新しい発見の感動をもたらした。

そう、のこぎりすら小生は思いつかなかったのである。やはり道具は大切だなと思いつつ、切れそうなのこぎりは見当たらず、あるのは錆びてしまったものが3本。結局、翌日にホームセンターでのこぎりを購入することを決め、その日の作業を終えた。

草を刈り、車の停め方を教わり、さくらんぼの樹の蔓を取り除くことを覚え、さらには

蔓も放っておくと木の枝のように太く堅くなることを学び、そして、やはりそれぞれ的に見合った道具が必要だということ改め確認して、私の野良仕事初日を終えた。

投稿

遠くシンガポール在住の粟飯原暖ちゃんから、おもしろい作文が送られてきました。

ソフトクリームの食べ方

あい原 のん

みなさん、ソフトクリームの食べ方知っていますか。考えてみてください。「あっ」と思った人も少なくないでしょう。ですからソフトクリームの食べ方を私が教えます。

まず、私の食べ方をせつ明します。

①一番さきつちよをかじる ②まわりがとけてくるまでまつ ③とけてきたらソフトクリームを回しながらなめる ④上をなめる ⑤形を整えながらなめる ⑥クリームをたいらにする ⑦コーンをかじる ⑧まんなかのいかしよだけのこす ⑨のこしたところを一気にかじる ⑩かじる↑↓なめる ⑪のこしたところを一口でたべる

⑫手をあらう、です。

こんな食べ方もあります。グーグルでしらべまくりました。

きれいに食べる方法

その一 カップでたべる

その二 そんなこと言ったって、あのコーンがおいしいんだからと思う人は(私もそうです)、お店の方に言つて、スプーンをもらいましょう。コーンの中にあるソフトクリームも、コーンをようきと見立てて、スプーンで食べれば、口の周りがよごれるのをふせげます。

その三 食べるじゅんばん ソフトクリームを食べるときにも、じゅんじよというものがあります。じゅんばんにきをつけましょう。

①トップ②山すそ

その四 食べる速度 ソフトクリームは暑いのがきらいです。カップなら、まだ少しとけても大じよぶですが、コーンとなると、とけてしまつたり、し氣てしまうため、最終的にはどうにもならなくなつてしまいます。おいしくたべるためにも、あるてい度の速度は必ようになります。

とのこと。ですからソフトクリームは、かくごした上、十分氣をつけ、美味しくたべましょう。

□五十一人のおつとめ奉仕者をお与えいたただこう ◆勇もうさづけの取り次ぎに。

九月月次祭役割表 (平成28年9月17日) 土曜日 午前10時執行

| 祭主 | | 會長 | | 扨者 | | 贊者 | | 指図方 | |
|-------|--------|--------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 会 | | 座りづとめ | | 前半 | | 後半 | | 安井清二 | |
| てをどり | | | | | | | | | |
| 笛 | 安井和栄 | 安井直 | 兵市会 | 安井美有 | 安井妙子 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 |
| ちゃんぽん | 佐々木登喜子 | 西井千賀子 | 西井千賀子 | 中川光子 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 |
| 拍子木 | 池尻喬信 | 佐々木登喜子 | 安井和栄 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 |
| 太鼓 | 安井美有 | 松本ハルノ | 安井和栄 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 |
| すりがね | 西井千賀子 | 安井妙子 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 |
| 小鼓 | 安井哲郎 | 会 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 |
| 琴 | 安井幸枝 | 会 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 |
| 三味線 | 武田直子 | 大橋美美代 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 |
| 胡弓 | 安井妙子 | 会 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 |
| 地方 | 兵市会 | 出口道信 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 |
| | 西井英樹 | 安井哲郎 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 | 安井清二 |

□挨拶、講話 会長。献饌長 安井清二 伝供 出口道信、安井哲郎、西井英樹 ▽本年の実績↓初席者8名。おさづけの理拝戴者0名。修養科生1名。検定

講習0名。三日講習会0名。

編集後記

▽真夏から一気に秋の季節へ。朝夕はめっきり涼しく、ときに暖房が恋しく思う日がありませ。皆さん如何がお過ごしでしょうか。相次ぐ台風の襲来で、東北・北海道では秋収穫の作物に大きな被害が…。心よりお見舞い申し上げます。ただ、悪いことばかりでなく、絶滅寸前だった阿寒湖のマリモが、台風が湖をかき混ぜたおかげで、生き返ったとか。自然の力に驚きをおかせません。

▽先月号で予告しておりました『おふでさきを学習する』(四八〇頁くらい)の発刊は、予定より一ヶ月延びました。一冊1000円くらいでお分けすることができると思っています。もし知り合いに、欲しいという方がおられましたら、連絡下さい。本書の「あとがき」にも書いておきましたが、連載が終わったとき、おふでさきの権威である芹澤茂先生から、すぐに本にするようにと、すすめられました。10年遅れになりました。

▽「いちひろ」6月号(291号)の「5月祭典役割表」において、後半、琴「安井理恵子」となっています。これは、正しくは「山本理恵子」です。苗字が変わりましたが、安井家に入籍されたということではありません(笑)。また分身の術を用いられた(笑)ということでもありません。編集者のミスです。訂正願います。